

知らない間に
バシっちゃう？

位置情報サービスの設定は大丈夫ですか？

目的地への道順を知りたい、そんなときに活躍してくれるのがスマートフォンの地図アプリ。スマホに標準装備されている位置情報サービスを利用しているのですが、この位置情報、設定次第ではSNSの投稿で自宅や勤務先が特定されたり、自分のよく行く場所が公開されたりと、トラブルに巻き込まれる可能性もないわけではありません。今回はスマホの位置情報サービスについて取り上げたいと思います。

位置情報サービスの設定を個別のアプリごとに見直そう

スマホの設定で「位置情報サービス」(Androidの場合は「位置情報」)というものがあります。インストール済のアプリが一覧表示されるので、位置情報サービスを使用したくないアプリについては【オフ】にすることで、例えばSNSなどのアプリでは投稿時に位置情報の開示を回避できます。アプリをインストールしたときにダイアログで位置情報サービスの設定をしたまま放置したということもあると思いますので、そういうアプリを今一度ここで確認しておきましょう。

- ・SNSアプリはできればオフ？...(敢えて位置を知りたい場合は別ですが...)
- ・地図アプリはオン？「ポケモンGO」などのゲームアプリも位置情報サービスを使用しています。
- ・カメラアプリはオンにすると、撮影した場所の位置情報、日付を含めた様々な情報がExifとして写真データの情報に記録されるので、写真の活用方法により注意が必要。



家族、友達との位置情報共有サービスによるトラブルも...

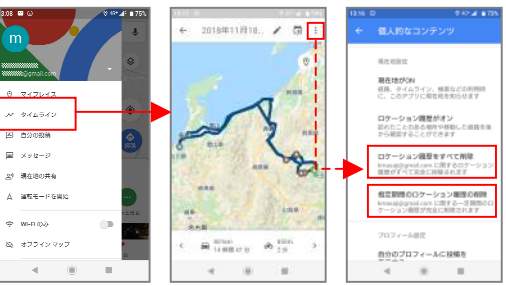
現在地をスマホユーザー同士で共有できる機能があります。iPhoneでは「友達を探す」、AndroidはGoogleマップの「現在地を共有」です。複数の友だちとの待合せや、緊急時に家族の居場所を確認したりする時に便利です。しかし、位置情報が共有しっぱなしになっていると友達に居場所がモロバレになってしまいます。うっかり「オフ」にし忘れていないかどうか確認しましょう。



これまでの行動履歴を確認、消去

iPhoneには「利用頻度の高い位置情報」を確認できる機能があり、よく行くエリアの具体的な場所、回数、日時が保存されています。Androidでは、自動取得の位置情報で「行った場所」を記録する機能があります。(Googleマップの「タイムライン」) 自分の行動履歴が確認できるので、この機会に一度チェックしてみましょう。過去の足跡が残ったままではなんだか心地悪い.....という方は、行動履歴を消去しましょう。

iPhoneでは、「設定」→「プライバシー」→「位置情報サービス」→「システムサービス」→「利用頻度の高い場所」→「履歴を消去」です。



Googleマップから行動履歴を削除

Googleマップの「タイムライン」の「:」の中の「設定」をタップ。

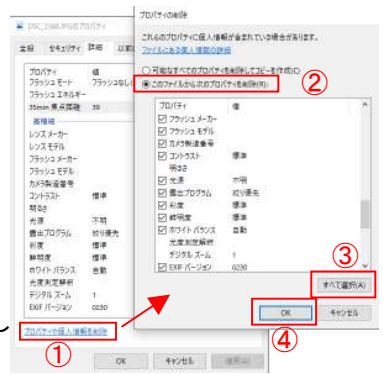
履歴の一括削除と指定期間削除ができます。

写真に記録されたExifを削除するには

位置情報を「ON」にして撮影した写真をSNS等にアップロードしたい、そんなときは写真に記録された情報 (Exif) を削除したほうが無難です。

■パソコンでの削除方法

Windows10では、写真を右クリックし「プロパティ」からExif情報を確認することができます。「詳細」タブにあります。ファイルのプロパティの左下にある「プロパティや個人情報を削除」をクリックします。



「このファイルから次のプロパティを削除」にチェックを入れ、「すべて選択」をおして全チェックを自動的にいれます。最後に「OK」ボタンをおします。

■スマホでの削除方法

スマホでは、専用のアプリが必要となります。iPhoneの場合はAndroidと比べ無料でExif情報を編集(削除)できるアプリが少なく、位置情報のみ消せるという機能が多いです。

iPhoneアプリ

GPS Deloger - 気になる位置情報をまとめて簡単削除 -

写真のExif表示 削除 Photo Secure

Androidアプリ

Exif消しゴム

EXIF Eraser

開発室から

時々、新元号についての問合せがあります。「5月1日から新元号が表示されますか」という内容です。ご安心ください。WindowsUpdateをきちんと行っていけば、自動的に新しい元号に変わります。現在サポートされているWindowsOSとOfficeであれば、4月10日のWindowsUpdateが適用されれば新しい元号が表示されるようになります。